



令和3年8月27日発行

坂本支所だより

— 第192号 —

発行：八代市坂本支所

編集：坂本支所地域振興課 ☎ 45-2211

坂本町の人口(7月末現在)

()は前月比

世帯数	1,499 戸	(-6)
男性	1,337 人	(-5)
女性	1,577 人	(-8)
合計	2,914 人	(-13)

木々子地区の「七夕綱」～残したい坂本の伝統文化～

毎年、旧暦の七夕の前日に行われている木々子地区の七夕綱の綱張りが、今年はコロナウイルス感染症の感染防止の観点から、木々子地区の方のみの参加で、8月6日(金)に行われました。

朝から、織姫と彦星の人形や鶴、亀、卵、タコ、わらじ、宝船などのワラ細工作りを行い、お屋には中谷川をまたぐように綱を張りました。

「この綱を渡って織姫と彦星が年に一度出会う」、「地区に悪霊が入ってこないように」、「先祖供養」などの伝承がありますが、今年は「コロナウイルス感染症が入ってこないように」という思いも込められました。

国の選択無形民族文化財にも選択されているこの七夕綱は、坂本町の伝統として、ずっと後世に残したい文化です。



「農事組合法人鶴喰なの花村」エミュー飼育場開場式

7月30日(金)、農事組合法人鶴喰なの花村の圃場において、エミュー飼育場開場式が行われました。エミューとは、オーストラリアの国鳥でダチョウに次いで世界で2番目に背の高い鳥類です。

中山間地域では、耕作放棄地や遊休農地が問題となっており、当法人が、日本エコシステム(株)からの委託を受け、農地の有効利用の一つとしてエミューの飼育を始めました。

今年1月に4羽の試験飼育を始め、今回、幼鳥30羽を追加し本格的に飼育されます。

開場式では、はじめに、あさひ森の保育園の園児による歓迎のことばと歌のプレゼントがあり、その後、松村梅雄代表理事のあいさつや日本エコシステム(株)藤澤社長からエミューの説明等が行われました。

今後は、成鳥になるまで飼育し、食肉や化粧品(オイル)への利用が予定されています。

なお、見学は自由にできますが、入口に鹿よけネットが設置してありますのでご注意ください。



<エミューの幼鳥30羽>



<あさひ森の保育園の園児たち>

行政・法律合同相談会中止のお知らせ

「まん延防止等重点措置」の適用期間中につき、9月10日(金)開催予定の「行政・法律合同相談会」を中止いたします。

皆様のご理解とご協力をお願いします。

《問い合わせ》地域振興課 市民サービス係 ☎ 45-2212

八代市有功者表彰式

八代市有功者表彰式が8月2日(月)に、鏡文化センターで行われ、被表彰者や関係者など約70人が出席しました。

市では八代市有功者表彰規則に基づき、市政に功績があった人を八代市有功者として毎年表彰しています。今年度表彰されたのは、長きにわたり介護認定審査会委員などの特別職を務めた人や、本市に多額の寄付をされた企業など45人2団体です。

坂本町関係では、八代市消防団坂本方面隊第1分団長 山口達朗さん、第3分団長 森富男さん、本部分団長 中津充弘さん、八代市青少年指導員 宮崎和春さんの4名の方が表彰されました。

式では、出席した被表彰者に対し、中村博生市長から表彰状と記念品が手渡され、被表彰者を代表し、坂本方面隊第3分団長の森富男さんが「表彰いただき光栄です。今日の感激を忘れることなく、それぞれの分野でより一層努力してまいります」とお礼を述べました。



<坂本方面隊第3分団長 森 富男さん>



<坂本方面隊本部分団長 中津充弘さん>



<八代市青少年指導員 宮崎和春さん>

※坂本方面隊第1分団長 山口達朗さんは、当日所用で欠席でした。

「夏休みの自由学習 さかもと夏物語」が開催されました

8月10日(火)、「さかもと復興商店街」の賑わいづくりを目的として、坂本町仮設店舗商店会が「夏休みの自由学習 さかもと夏物語」を開催し、市内の児童と保護者、約30人が参加しました。

まず、学習会として国土交通省九州地方整備局の職員の案内により、坂本橋仮設橋、球磨川堤防工事現場、坂本駅等を見学した後、さかもと復興商店街での鮎の塩焼きや鮎のつかみ取りなどを体験し、坂本町での充実した1日となりました。



毎月11日は『人権を確かめ合う日』です。

